



# 下北ジオパークに関する 課題研究の取り組み



青森県立大湊高等学校 2年次 今美美・中村琴・二本柳若菜

## 課題研究の目的

この活動を通して、「地域活性化のために何をすれば効果的なのか」、「下北の認知度をより高めて広めていくにはどんな取り組みが必要なのか」という問いに対して、自分達で方法や対策を考え、持続可能な地域を目指すことを目的としています。

## 研究手法

課題研究では、下北ジオパーク講演会で知識を深めた後、全国と下北の比較研究を行いました。比較研究では、全国ジオパークと下北ジオパークの両方を研究することで、それぞれの地域的な課題について発見しました。現在、右の5つの過程の①を終え、今後②から⑤を繰り返しながら課題研究を深めていく予定です。

- ①地域を学ぶ
- ②研究テーマを選ぶ
- ③リサーチクエスションを立てる
- ④仮説を立てる
- ⑤検証する

繰り返す

## 下北ジオパーク講演会

期日 令和3年4月14日(水)6校時

内容 「ジオパークから地域を考える～ジオパーク活動とSDGsの関わりとともに～」

講師 むつ市ジオパーク推進員 北川桐香 氏

講演会では、ジオパークの意味を学び、下北ジオパークにはどんな魅力があるのかを考えました。下北ジオパークは海と山の両方からたくさんの恩恵を受けており、大地と自然と人々の生活のつながりを大切にしており、郷土愛の醸成と地域の価値の向上を目標としているということがわかりました。

講演の中では、下北の自慢できる点について話し合う時間があり、地域で積極的に海岸清掃をしていることや、日本一の砂丘があることなどについて考えることができました。また、SDGsに結びつけて下北の大地を感じるジオツアーについての説明を受けました。例えば、川内・脇ノ沢コースの「海底活動がもたらしたユニークな景色と資源をたどるコース」、東通コースの「ひとまたぎ1億5000年、大地の力と海の変動を感じるコース」などの5つのコースがあります。自分が興味を持ったコースについて深く学ぶことで、持続可能な社会と下北ジオパークとはどんな関連があるのかを理解することができ、これからの下北ジオパークの学習活動への意欲を高めることができました。

## 全国ジオパークについて

全国43か所あるジオパークのうち14か所をピックアップし、各班で調査しました。調査した項目は、以下の通りです。

- ・ジオパークの概要
- ・ジオを活用した取り組み
- ・ジオパークの問題や解決すべき課題
- ・今後の発展に繋げることができそうなこと

## 下北ジオパークについて

全国のジオパークについて調べた後に、下北ジオパークについて調べました。調査した項目は、以下の通りです。

- ・エリアの概要
- ・そのエリアのおかげで生まれた文化、食べ物など
- ・問題や解決すべき課題
- ・今後の発展に繋げることができそうなこと

## 全国ジオパークの問題点

### ★解決すべき問題や課題★

- ・観光地としての知名度の低さ
- ・外国語を話せる人がいない
- ・PR不足など

### ★改善策★

- ・中国、台湾などアジア系をターゲットにしたPR動画、ドイツ、フランスなどをターゲットにしたPR動画の作成
- ➡ターゲットによってPRする部分を変えることで興味を引き付けることができます。
- ・外国語を話せるスタッフの確保
- ➡外国人にも適切な対応ができれば、集客につながります。

## 下北ジオパークの問題点

### ☆解決すべき問題や課題☆

- ・ごみ問題
- ➡大間町や東通村の海に中国や韓国から流れてきたゴミが沢山あります。流れ着いたゴミは、地域の人が定期的にボランティアでゴミ拾いを行っています。しかしゴミが無くなることはなく、下北全体で海のゴミについて改善策を考えています。
- ・PR不足
- ➡地域外に対しても下北ジオパークという名前とその魅力をアピールしていく必要があります。

## まとめ

全国ジオパークと下北ジオパークを比較研究してわかったことは、たくさんの人に認知してもらうことの大切さです。活動の中で、地元である下北ジオパークについてできても、調べなければわからないことがたくさんあることに気づきました。全国的にも同じような課題を抱えている地域が多いことから、やはりPR活動が重要だと思いました。まずは、自分たちの住んでいる地域・県のジオパークについて自分たちが知ることが大切です。小学校や中学校、高校の課外活動に取り入れることで、多くの人とコミュニケーションを図り、知識を増やすことができます。私たちも、思考力や発想力を養いながら、ジオパークの改善点を考え、どのようにPRするか話し合い、より良い下北ジオパークの在り方について学ぶことができました。今後、さらに下北ジオパークに関する課題研究を深め、PR活動を含めた課題解決の方法について考えていきたいと思います。